

2022年度 日本インターンシップ学会東日本支部 第2回研究会報告

報告者 松坂暢浩（東日本支部 支部長）

2023年3月30日（木）13:30より2022年度第2回研究会をオンライン（Zoom）形式で開催いたしました。当日は、全国から28名の大学教職員、民間企業など多様な皆様に参加いただきました。

第2回研究会は、支部運営委員の二上武生会員（工学院大学教授）が第1回研究会に引き続きコーディネーターとなり、前回の振り返りと具体的な研究の設計および効果検証の方法についての問題提起がありました。その後、パネリストの山本美奈子会員（山形大学准教授）から、コーディネーターから問題提起のあった内容について説明いただき、その後にディスカッションおよび質疑応答を行いました。特に、山本会員からは、論文における研究方法に関する丁寧な記述の重要性、リサーチクエストンの要件、研究デザインの分類などについて事例を踏まえた具体的な説明がありました。質疑応答では、参加者からサンプル数が少ない場合の統計的な検証方法に関する質問やデータを集める上で悩みなど、実践経験で抱える課題を踏まえた質問や感想があり、活発な意見交換がなされました。

研究会後の参加者アンケートでは、16名の参加者から回答があり、研究会の満足度は「大変参考になった」と「参考になった」あわせて87.5%であり、これからの研究を見直すことができ、学びの多い研究会であったとの感想をいただきました。また、他の分野の先生方の実践研究についてお話をお聞きしたいというコメントやインターンシップの制度変更に関する問題や海外インターンシップなどもテーマとして扱ってほしいとの要望をいただきました。6月開催予定の第3回研究会では、今回いただいたコメントを参考にプログラムについて検討したいと考えております。

